

◎三村交流会は12月に荻町を会場に開催いたします。日程等決まり次第お知らせいたします。

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成30年 7月号

## 全国伝統的建造物群保存地区協議会総会in日田市！！

去る5月30日～6月1日、大分県日田市にて開催の「第40回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会並びに研修会」に、村教育委員会から倉教育長と松本主査、守る会から副会長今藤と事務局長尾崎の計4名で出席しました。以下にその概要を報告いたします。

**1日目：**大分県日田市まで約6時間の移動時間を経て到着。開会式並びに総会では、全伝協新会長に高山市國島市長が就任され、白川村成原村長が理事となりました。また、記念講演では、熊本大学大学院の伊藤龍一教授から、「日田豆田の町並み～これまでの歩みと、近年の災害と課題～」を拝聴。日田市豆田町の伝建地区の歴史文化や、町並み保存の取り組み、現在の課題の他、平成29年に発生した豪雨による水害や、平成28年に2回に渡って生じた熊本地震における被害と復興活動について説明いただきました。また、夜の情報交歓会では、会場を三隈川に移し、屋形船で鵜飼や花火を眺めながら、全国から集まった伝建地区の住民代表の方々や行政の方々と交流を深めました。

**2日目：**午前中は日田市豆田町の伝建地区を視察。午後からは意見交換会並びに全体会議。意見交換会では15分科会に分かれて、2つのテーマ①「伝建地区の後継者について」、②「伝統的建造物群・町並みの活用について」について意見交流。今藤と尾崎は、テーマ①「伝建地区の後継者について」の分科会に分かれて参加し、荻町伝建40周年記念事業で実施した「荻町未来会議」や、白川郷学園のカリキュラムに守る会の活動や合掌造りの学習を位置付けている事例を紹介しました。また、全体会議では、後継者問題に対する課題解決に向けて議論したアイデアが発表され、発表者に選ばれた尾崎が参加した分科会では、次の通りアイデアが取りまとめられました。

【課題解決のアイデア】

カテゴリー①「観光」：伝統的建造物群や町並みを活用した国際観光振興による域内で経済を高める

カテゴリー②「教育」：学校教育はもとより、地域が子ども達に郷土愛を育む地域教育を進める

カテゴリー③「地域づくり、人づくり」：若者が地域づくりに主体的に関わる環境づくりと、故郷を離れて暮らす子ども達と将来に渡って関わり合える環境づくり

カテゴリー④「移住」：移住者を受け入れる地域環境づくりと保存活動への参画促進

カテゴリー⑤「助成制度」：手厚い保存支援メニューの確立

また、2日目の情報交歓会では、次回開催地の秋田県横手市の増田町並み保存会の皆様から熱い歓迎のご挨拶がありました。

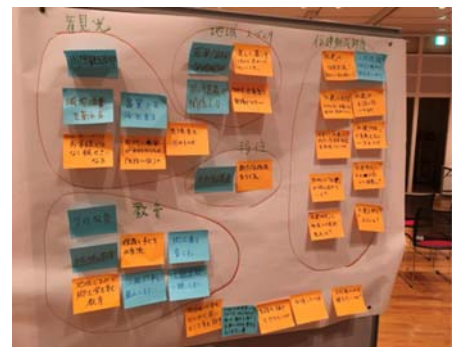
**3日目：**最終日は午前のみ参加。市内文化財施設等の視察で、ユネスコ無形文化遺産に指定される祇園山鉾会館、近世日本の教育遺産群として日本遺産に指定される国史跡の咸宜園、小鹿田焼の窯元が集まる地域として国重要無形文化財に指定される小鹿田の里を見学しました。帰路の途中、我々が誇る世界遺産の価値を改めて認識するとともに、先人先輩方のご尽力や行政の支援に感謝し、次代につなげるための努力を一層深めようと話し合い、深夜に無事帰郷しました。以上、貴重な研修の機会に感謝し、報告といたします。 【文責・尾崎・今藤】



【総会及び基調講演】



【地区内をフィールドワーク】



【意見交換会で課題解決】



【次回は秋田県横手市】

リレーコラム①守る会への参画を通して思うこと、やってみたいこと（3番手）

「白川村の変化を感じて思うこと」 民宿連絡協議会代表 川淵 佐栄子さん

結婚して40年近く。白川もだいぶ変化してきました。合掌造りに生まれ、合掌造りに嫁にきましたが、母達が不便な中生きてきた姿を見てきていたので、今の生活で十分だと思いますが、体の衰えで2階3階の障子の貼り替えが苦痛になってきました。

知らないうちに人が家の中に入っていたり、空気の入れ換えをしようと戸を開けていると覗かれて何か話をしていて、監視されているような毎日を送っています。京都のように道側に塀や垣根を造るわけにもいかず、荻町の人は大変苦勞しています。立入禁止のロープや看板があちらこちらに目立つようになってきて、観光客のモラルに不信感をもおぼえます。

白川の伝統を守るには、地域の行事に参加することが大切ですが、例えば外から来られた嫁さんは民謡が踊れません。なんとかそういう場をつくり、景観や伝統を守っていただけたらいいなと考えています。



上手さん & 川淵さん

リレーコラム②趣味に仕事に全力投球！その思いが白川村をつなぐ（2番手）

「白川人になる」 上手 敬子さん

私は石川県の金沢で生まれ、金沢で育ち、白川村に嫁いできました。人には皆それぞれ生まれた場所、育った場所があります。今の白川村は交通の便も良くなり、もはや閉鎖された村ではありませんが、それでも他の地域にはない独自の文化や地域性があります。白川村には沢山の村外出身者が暮らしていて、村の出身ではない私は、村の文化や地域性を理解しようと、自分なりに努力してきました。が、白川人になるにはほど遠い現状です（笑）。村の人には当たり前の事が、私には新しい経験や知識で、体や頭が覚えきれずに大変になる事もしばしばです。

白川人になるとは、どういう事なのか？ 極端な結論かもしれませんが、この村で最期（死）を迎える事ではないかと私は考えます。自分に根付いているものは、紛れもなく金沢の風習で、白川村のものではありません。でも、この村に住んでいる限り、きっと私は死ぬまで白川人になろうと努力し続けるでしょう。そして最期を迎えた時、私は本当に白川人になれたと、自分に納得がいくような気がしています。日々、白川人になろうと切磋琢磨している村外出身者の方が、他にもいらっしゃるかもしれません。温かく見守って頂ければ幸いです。

今回は、先日村の出事で山菜採りに出かけたお二人にお願いしました。暮らし方、働き方が急激に変化した白川村で、伝統をつないでいくと言っても、現実にはなかなか難しいことだと感じています。そんな中で異なる世代が同じ暮らしを共有する時間はとても貴重なのではないのでしょうか。お二人とも「結婚」を機に多くのことを感じ、それぞれの立場で前へ進んでいらっしゃる姿が印象的です。[文責:福田]

守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 6月の活動報告 ＝

- 6月 8日 6月定例会、道路舗装プラスチック処理立会
- 6月 10日 ねそ6月号配付
- 6月 13日 白川郷学園6年ふるさと学習（会長）
- 6月 15日 合掌保存財団評議員会・自然共生フォーラム理事会（会長）
- 6月 18日 現状変更申請現地調査（三役・教育委員会）
- 6月 20日 現状変更申請現地調査（三役・教育委員会）
- 6月 22日 白川郷合掌保存組合総会
- 6月 24日 荻町区林道草刈り、旧寺口家草刈り（有志）
- 6月 30日 西村幸夫町並み塾 in 三国（坂井市 会長）

◎区民の皆様へ・・・建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をお願い致します。

※ 8月の定例会は8日(水)、公民館にて開催を予定しています。

☆7月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

- |                    |                  |                      |
|--------------------|------------------|----------------------|
| ***** 木造建物新築（先月保留） | ***** 看板設置（先月保留） | ***** 土台取替、不陸調整      |
| ***** 雨樋取付、建具取替    | ***** 南側窓庇取付     | ***** 屋根板金交換         |
| ***** 給湯機室外機設置     | ***** 箱棟取付       | 白川村・・・看板設置           |
|                    |                  | 白川村・・・法粋工 白川村・・・普及啓発 |